



2019年12月25日

各 位

本社所在地 東京都渋谷区代々木3-25-3  
会社名 **レカム株式会社**  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 秀博  
(コード番号: 3323 東証 JASDAQ S)  
問合せ先 取締役執行役員CFO  
兼経営管理本部長  
砥 綿 正 博  
(TEL: 03-4405-4566)  
(URL: <http://www.recomm.co.jp>)

## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、本日、関東財務局に提出いたしました2019年9月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効ではない旨の記載をしておりますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 開示すべき重要な不備の内容

2019年9月期事業年度の財務諸表監査の過程において、当事業年度中に株式を取得して連結子会社化した海外現地法人等の決算に必要な資料が適時に入手できなかったことや会計処理を誤っていたため、売上高等の複数の勘定科目に誤りがあるとの指摘を、監査人から受けました。当該誤りの発生はその金額的・質的重要性から、全社的な観点で評価する決算・財務報告プロセスにおける重要な不備と判断され、その原因は、適切な経理・決算業務のために必要かつ十分な専門知識を有した社内の人材が不足していたこと、決算業務の社内のチェック体制が十分ではなかったことによります。

#### 2. 事業年度末に訂正できなかった理由

事業年度末までには是正できなかった理由は、当該誤りの発生が事業年度末後であったためであります。今後は財務経理部員の増員、までに、決算・財務報告プロセスにおいて、経理部門に必要なかつ十分な専門知識、経験を有した人材の配置が間に合わなかったものと認識しております。

#### 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

今後は財務経理部員の増員、特に海外常駐者の増員及び会計システムの統一と連結パッケージ会計システムを導入するなど、その対応策を講じてまいります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、すべて財務諸表及び連結財務諸表に反映しており、当該連結財務諸表等に与える重要な影響はありません。

5. 連結財務諸表の報告における監査意見

無限定適性意見であります。

以上